

お取引先さまとのかわり

大真空グループでは「信頼」を軸に、お取引先さまと一体となって価値創造を行い、相互利益の創出を通して社会に貢献できるパートナーシップの構築を目指しています。

大真空の購買基本方針

I. パートナーシップ

あらゆるお取引先さまと良いパートナーシップを築き、相互理解と信頼関係の樹立・維持向上を図っていきます。

II. 開放・公正

国内外のすべてのお取引先さまに対して、平等に開放し、自由な競争の原則にもとづいた機会の提供をいたします。

III. 社会的責任

コンプライアンス、品質、安全性、環境保全、安全衛生、人権、労働などに配慮し、社会に貢献できる役割を積極的に果たしていきます。

サプライチェーン全体でのCSR活動

大真空グループでは、サプライチェーン全体でCSR活動を推進するため、購買基本方針について、社内の取り組みだけでなく、お取引先さまにもご理解いただくため、2017年6月に「CSR調達ガイドライン」(URL:<https://www.kds.info/company/csr/>)を作成いたしました。当社グループの基本姿勢をはじめ、法令遵守はもちろん、人権・労働・安全衛生や環境への配慮などに関する依頼事項などを明記し、お取引先さまとともにサプライチェーンにおけるCSR活動の取り組みを推進しております。

サプライヤーとの公正で良好な関係づくり

お取引先さまは、高品質な製品を安定的に生産するための大切なパートナーであり、協力体制の確立が不可欠です。大真空グループでは、毎年「事業説明会」を開催し、当社グループの現況や経営方針、生産戦略、技術動向など、当社とお取引先さまを取り巻く環境について説明し、お取引先さまとの信頼関係の構築に努め、ともに持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指しています。



化学物質規制への対応

環境に配慮した製品を社会に提供するため、有害物質を含まない部品・原材料の調達に取り組んでいます。化学物質に関する規制は、欧州RoHS指令を始め、ELV指令、REACH規則など、世界各国で定められ年々強化されています。大真空グループの要求事項を定め、お取引先さまと連携を取りながらグリーン調達を行っています。

紛争鉱物に関する取り組み

2010年7月に可決された米国金融規制改革法により、コンゴ民主共和国(DRC)およびその隣接国で産出される、武装グループの資金源となる鉱物(金、タンタル、錫、タングステン)の調達関連情報を調査・開示することが求められています。大真空グループでは、次の紛争鉱物に関する方針を掲げ、活動を実践しています。

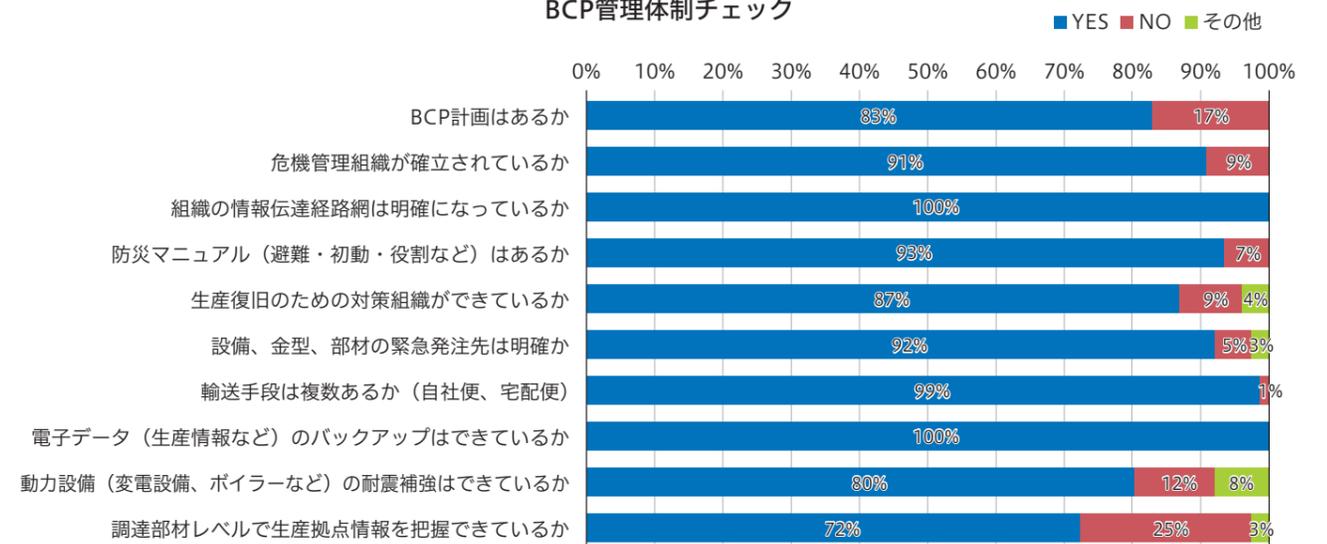
コンゴ民主共和国(DRC)もしくはその隣接国の武装グループに直接または間接的に資金提供または利益供与する可能性のある鉱物の調達を回避し、これらの不使用に努めます。

当社では、サプライチェーンの川中企業として、業界共通の紛争鉱物報告テンプレートを用いて、お取引先さまへ調査依頼し、紛争鉱物に関する情報をとりまとめ、お客さまに情報伝達を行っています。2018年度、2019年度は国内・海外すべてのお取引先さまへの調査を行い、武装勢力の資金源となる「紛争鉱物」の使用がないことを確認しています。

経営指標調査、BCP/CSR管理体制チェックシートについて

当社では、主要なお取引先さまを対象として、毎年経営指標調査およびBCP/CSR管理体制チェックシートによるアンケートを実施しています。2020年度のアンケート調査では、76社の実施に対しすべてのお取引先さまからご回答をいただき、BCP/CSR遂行への関心の高さを実感いたしました。お取引先さまと互いに理解し合い、一体となって、製品の安定供給に向けた調達体制の強化およびCSR活動の促進を図ってまいります。

BCP管理体制チェック



CSR管理体制チェック

